V.NETWORKS

型名 VN-C3

取扱説明書

私たちは環境・資源をたいせつにしています。
エコマーク認定の再生紙（古紙100%）を使用
しています。

お買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際はこの装置の天面に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかをお確かめください。

SS961509-003

ご注意

・本書の一部または全部を複製することは固くお断りいたします。
・ご使用にあたり、他人の著作権を侵害しないようにご留意願います。
・本書に誤りがあっても、当社が責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
・本書の内容は、予告なく変更されることがあります。
・この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

商標

Microsoft、Windows は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
本書では、TM、©、® などのマークは記載していません。
その他本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

大切な画像を記録保存する前に

・テレビ放送や録画物などの再生画像あるいはポスターなどの出版物を撮影した画像を記録・保存したものは、個人的に楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
・大切な画像記録の場合は必ず事前に試し撮りをし、正常に記録・表示されることを確かめてください。ハードディスクの空容量にも注意してください。
・万一、本機およびコンピュータソフトウェア等の不具合により正常に記録・再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

目次

安全上のご注意 3
バージョンアップに関して 9
パッケージ内容　動作環境 9
VN-C3 の設置とセットアップ 11
　設置とセットアップを始める前に ... 11
　VN-C3 本体各部の名称 11
　設置とセットアップ 12
コントローラソフトの操作説明 33
　接続の開始および接続先変更 33
　設定ファイルからの接続 34
　コントローラの説明 1 35
　コントローラの説明 2 37
　コントローラの説明 3 38
　接続先の削除 39
　表示サイズ変更と上下反転 40
　画質の調整 41
　フレームレートの設定 43
　ポジションメモリの設定 44
　レンズ設定 45
　アラーム設定 46
　タイムスタンプ設定 48
　登録情報の変更 50
　動画保存再生機能 51
　静止画保存機能 56
　V.NETWORKS プロパティ 58
こんなときは 59
仕様 62
保証とアフターサービス 63

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

■ 本機を正しく安全にお使いいただくために必ずお守りください。

本機をご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることをお知らせするものです。

分解禁止

⃠ 記号は、禁止の行為であることをお知らせするものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

電源プラグを抜く

● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

■万一異常が発生したら、差し込みプラグをすぐ抜く！！

煙が出たり変な音やにおいがするなど異常状態のまま使わないでください。火災、感電の原因となります。
このようなときは、差し込みプラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険です。絶対におやめください。

■落としたり、壊れたときなどは、差し込みプラグをコンセントから抜く

販売店に修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■内部に水や異物が入ったときは、差し込みプラグをコンセントから抜く。

販売店に連絡してください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

■電源コードを大切に

電源コードの上に、重いものをのせたり、熱器具に近づけないでください。電源コードが破損します。
電源コードに傷がつくと火災、感電、故障の原因となります。
電源を加工したり、無理に曲げたり、引っぱったりすると火災、感電の原因となります。電源コードが傷んだらすぐに販売店にご連絡ください。

■本機のカバーをはずしたり、改造しない

本機を分解・改造しないでください。
火災、感電の原因となります。
内部の点検・調整は販売店にご依頼ください。

分解禁止

⚠ 警告

■不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

■内部に物を入れない

端子部などから、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。
火災や感電の原因となります。
特にお子様にご注意ください。

■定格の電源以外は使用しないでください

定格の電源をお使いください。
表示された電圧以外で使用すると、火災、感電の原因となります。

■DC12V 電源を接続するときは＋－を正しく合わせてください

逆に接続すると故障の原因となる恐れがあります。
または電源によっては火災の原因となる可能性があります。

■ぬらさない

火災や感電の原因となります。
水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の上に置かないでください。

■風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠ 警告

■雷が鳴り出したら、機器に接続されている接続線（アンテナ線、電話線、その他の接続線）や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

接触禁止

■この機器の開口部（通風孔など）から内部に金属や燃えやすいものを入れない

火災・感電の原因となります。特に小さいお子様がいる場所ではご注意ください。

■この機器を使用できるのは日本国内のみです

船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。
火災の原因となります。

■この機器の通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底面などに通風孔があけてあります。

■設置について

この機器を設置する場合は、壁から 10cm 以上の間隔をおいてすえ付けてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

⚠注意

■本機を次のような場所には置かない

火災、感電の原因となることがありますので、本機を次のような場所に置かないでください。
・湿気やほこりの多いところ
湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
油煙や湯気があたるような場所はさけてください。
・高温になるところ
直射日光があたる場所や熱器具の近くなど異常に温度が高くなる場所に置かないでください。

■ぬれた手で電源コードや差し込みプラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。

■上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■上にのらない

倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様にご注意ください。

■お手入れするときは、差し込みプラグを抜く

お手入れするときは、安全のため差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

■ご使用にならないときは

安全のため必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

■指定以外のアクセサリーは使用しない

本機に使用するアクセサリーは、必ず「取扱説明書」で指定しているものをご使用ください。それ以外のアクセサリーを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■接続は指定のコードを使用してください。

指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠ 注意

■３年に一度は内部の点検を販売店に依頼する
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や故障の原因となることがあります。
湿気の多くなる梅雨期の前に点検をすると、より効果的です。
費用については、販売店にご相談ください。

■海外では使用しないでください
この VN-C3 を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用しないでください。
< CAUTION: This VN-C3 set can not be used in foreign country as designed for Japan only. >

■調理台や加湿器のそばなど湯煙や湯気が当たるような場所には置かない
火災・感電の原因となることがあります。

■梱包箱や梱包袋などは、お子様などが遊びに使わない様に注意してください。
遊びに使ったりするとけがや窒息する場合があります。

■電源入力端子部が露出しているため、電源ケーブルの抜き差し及び金属部等でショートさせないようご注意ください。

■ CD-ROM の取扱いについて
折ったり曲げたりしないでください。

■アラーム端子に定格以上のものを接続しない
本機が破損する可能性があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

バージョンアップに関して

■ソフトフェア（VN-C3）のバージョンアップは、インターネットを通じて行わせていただきます。
ホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/pro/vnetworks/
よりソフトフェアをダウンロードしていただくことができます。

パッケージ内容

本品には、次のものが梱包されています。不足しているものがありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。

○ VN-C3 本体
○ CD-ROM
（VN-C3 コントローラ）
○保証書
○取扱説明書（本書）
○サービス窓口案内

動作環境

VN-C3 を動作させるには次の環境が必要です。
Microsoft Windows95,98,Me,XP Home,NT（SP4 以上）,2000（SP1 以上）,XP Professional の動作しているパーソナルコンピュータ

・CPU	Pentium133 MHz 同等以上（MMX200 MHz 以上を推奨）
・メモリー容量	32 MB 以上（64 MB 以上を推奨）
・ハードディスク空容量	20 MB 以上
・ディスプレイおよびビデオカード	640 × 480 ドット以上、High Color（1 024 × 768 ドット以上、True Color 推奨）
・10BASE-T	LAN ボード、接続ケーブル類
・その他	ダイアルアップネットワークまたはリモートアクセスサービスがインストールされていること

注意
本ソフトウェア自体の動作条件より、各対応 OS がそれぞれ必要とする動作条件の方が高い場合はそちらが優先しますのでご注意ください。

LAN 環境
・IEEE802.3 準拠の HUB 等で相互に接続された 10BASE-T ネットワーク
・クロスケーブルを使用することによってパソコンと VN-C3 を直接 1：1 で接続することも可能です。（まれにご使用の LAN ボードでクロスケーブルの使用が認められていない場合がありますのでご確認ください。）

正しくお使いいただくためのご注意

○節電のため使用しないときは、システムの電源を切ってください。
○本機は屋内用機器です。屋外での使用はできません。
○次のような場所への設置およびご使用はできません。
- ・雨や水のかかる場所
- ・厨房など蒸気や油分の多い場所
- ・使用周囲温度（0℃ ～＋ 40℃）を超える場所
- ・放射線やＸ線および強力な電波や磁気の発生する場所
- ・振動する場所
- ・ほこりの多い場所

○本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。
本機周辺の通風を妨げないようにしてください。
○本機は AGC 回路内蔵のため、暗い場所では自動的に感度が上がり、画面がザラついた感じになる場合がありますが、これは故障ではありません。
○本機はオートホワイトバランスで動作しており、自動追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
○高輝度の被写体（ランプなど）を撮影した時、画面上で高輝度の被写体の上下方向に白い尾引き現象が現れます。これは固体撮像素子特有の現象（スミア現象）で故障ではありません。
○レンズカバーは、直接手で触れないでください。カバーが汚れると画質劣化の原因となります。
○ VN-C3 本体をパン・チルト方向に、手などによって回したり動かしたりしないでください。故障の原因となることがあります。
○お手入れは
- ・電源を切ってからおこなってください。
- ・レンズカバーは、レンズふき用布（又は紙）を使用して汚れをふきとってください。
使用環境によっては短期間で汚れが付着することがあります。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を水にうすめ前記布（又は紙）にしみ込ませふきとってください。

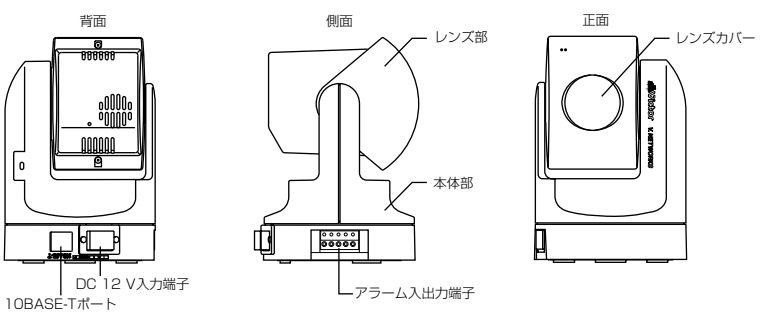
VN-C3の設置とセットアップ

設置とセットアップを始める前に

VN-C3 は 1 台ごとに IP アドレスを設定する必要がありますので、以下の手順に従い 1 台ずつセットアップしてください。（電源を投入しなければ取付作業自体は 1 度に行っても構いません。）

1．VN-C3 を設置する。
　※容易に電源の入切が出来ないところへ設置する場合のみ、
　　2～5 の手順が全て終了してから設置してください。
2．VN-C3 をネットワークに接続する。
　（VN-C3 の電源を投入します。）
3．VN-C3 の IP アドレスを設定する。
　※ VN-C3 の IP アドレスは必ず接続するネットワークの管理者に連絡して、割り当てあるいは承認を得たものを使用してください。
　　2 台目以降を設置する場合はパソコンを再起動させた後、2 に戻ってください。
4．設定した VN-C3 の IP アドレスを有効にする。
　（VN-C3 の電源を一旦切断した後、再投入します。）
5．接続先を登録する。
　※ユーザのパソコンに VN-C3 の IP アドレス情報を登録します。

VN-C3 本体各部の名称



設置とセットアップ

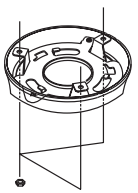
1．設置

別売りの取付キット（型番：VN-BK30）を用いて設置します。
電源およびネットワークへの接続は設置が完了してからおこなうようにしてください。

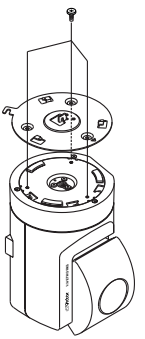
注意

落下事故が発生しないように十分な強度が確保できる場所に取付施工してください。VN-C3 は下図の向き、または上下逆向きのみ設置できます。横向きには設置しないでください。

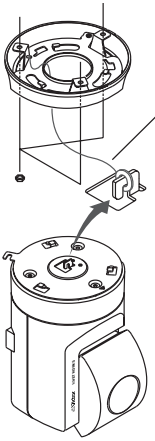
①天井金具の▽穴を VN-C3 の前面方向になるよう取り付けます。



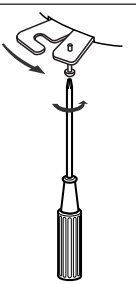
②VN-C3 に VN-C3 本体金具を取り付けます。



③VN-C3本体金具のフックに天井金具に付いている落下防止ワイヤを引掛ける。



④天井金具に VN-C3 を時計方向に回転させて取り付け、VN-C3本体金具に付いているスクリューで固定します。

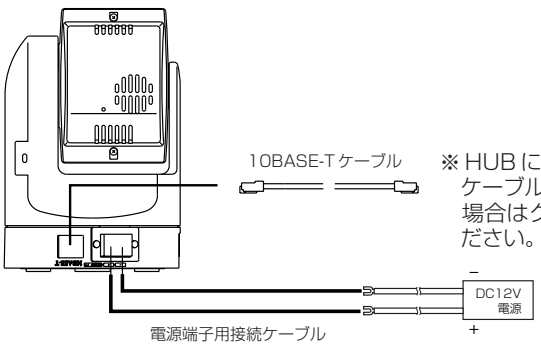


2．ネットワークへの接続

VN-C3 の電源を 1 台のみ投入します。

VN-C3 をネットワークに接続して電源を投入することにより以下の IP アドレスでネットワークに接続されます。

工場出荷時の IP アドレス	192. 168. 0. 2



○電源端子用接続ケーブルについて

・長さ：30ｍ以下のものをお使いください。

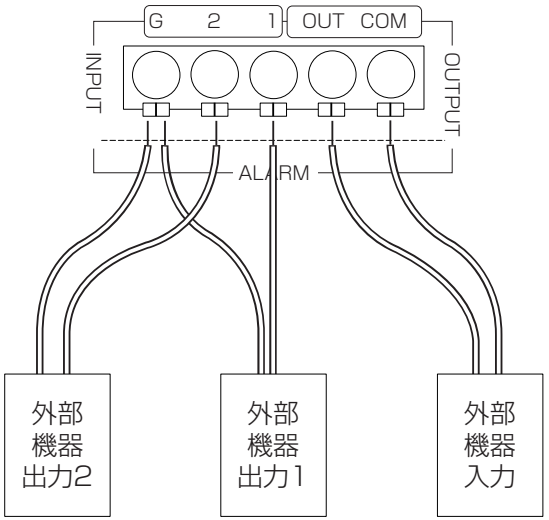
・推奨線種：UL1007 もしくは UL1015 相当品で AWG#20 相当以上の電流容量のケーブルをお使いください。

注意

工場出荷時点にはVN-C3のIPアドレスは全て192.168.0.2となっています。よって同一LAN環境下において、同時に複数台の電源を投入しますと、IPアドレス重複がおこり正しくアクセスできなくなります。必ず一台ずつ電源を投入してください。一旦 IP アドレスの重複が発生した場合は（同一 LAN 環境下に VN-C3 が 1 台のみ存在する事を確認後）しばらく（10分以上）時間をおくか、同一LAN環境下での全てのネットワーク機器の電源を切断後、電源再投入を実行しないとVN-C3に対してアクセスできなくなる場合があります。

3．アラーム入出力端子の接続

アラーム入出力端子と外部機器との接続は以下のように行ってください。



○ケーブルの挿抜方法

ケーブルを抜き差しする時はセンサ挿入ボタンを押して行ってください。
抜き差しした後、センサ挿抜ボタンが元に戻ったことを確認してください。

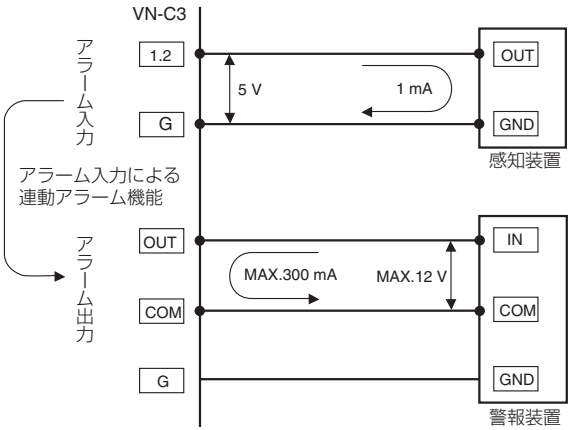
○アラーム入出力端子接続用ケーブルについて

・長さ：50ｍ以下のものをご使用ください。
・推奨線種：UL1007 もしくは UL1015 相当品で AWG#22 ～ AWG#18 相当品をご使用ください。

注意

外来の雑音等により長さ 50 m 以下でも誤動作を起こす場合があります。その時は雑音の影響を受けないようシールドケーブル等への線種変更や雑音源から遠ざけるように配線経路を変更する必要があります。

○アラーム入出力機能概略



アラーム入力端子　I/F 条件

無電圧リレーａ接点入力

又は、無接点半導体ａ接点入力

又は、NPN オープンコレクタ入力

アクティブローレベル、ラッチ／モーメンタリ（500 ms 以上）

ローレベル時回路電流　1 mA、ハイレベル時印加電圧　5 V

感知（センサ）装置　具体例

赤外線センサ、ドアセンサ、金属サンサ、手動スイッチ等

アラーム出力端子　I/F 条件

NPN オープンコレクタ出力相当（出力論理は、コントローラにて設定）

許容印加電圧　DC 12 V 以下

許容流入電流　300 mA 以下

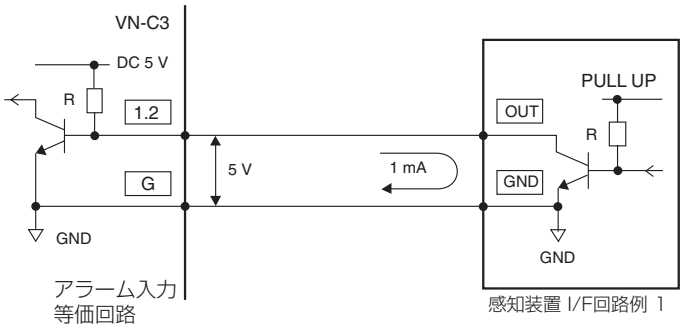
モーメンタリ（2 ～ 5000 ms）出力（時間は、コントローラにて設定）

報知（警告）装置　具体例

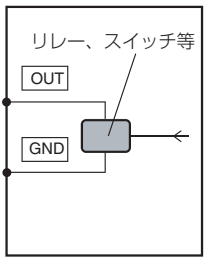
報知器、表示器、ライト、ブザー等

※リレーの接点機構の種別は、ａ接点、ｂ接点、ｃ接点などの表現を使います。
それぞれの動作は、
ａ接点ー接点は通常“開”となっており、イベントが発生すると“閉”となるもの。
ｂ接点ー接点は通常“閉”となっており、イベントが発生すると“開”となるもの。
ｃ接点ーイベントの発生毎に、接点の状態が反転するもの。

○アラーム入力端子 I/F 例



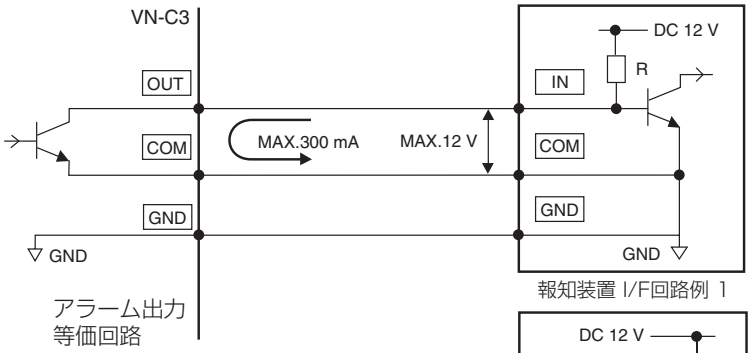
感知装置 I/F回路例 1



感知装置 I/F回路例 2

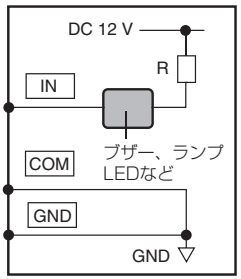
推奨接続ケーブル
最大長　：50 m以下
推奨線種：UL1007,UL1015 相当品
　　AWG#22～AWG#18相当品

○アラーム出力端子 I/F 例



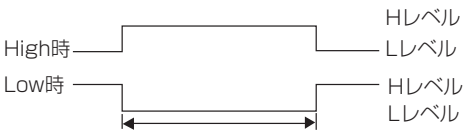
報知装置 I/F回路例 1

推奨接続ケーブル
最大長　：50 m以下
推奨線種：UL1007,UL1015 相当品
AWG#22～AWG#18相当品

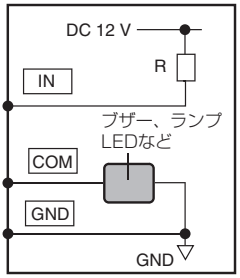


報知装置 I/F回路例 2

※V.NETWORKSセットアップツールの
アラーム設定画面について
このI/F 回路例と同等な報知装置を接続した
場合、出力ポート設定によりVN-C3のOUT
端子は以下のように変化します。



出力時間（2～5000 ms）

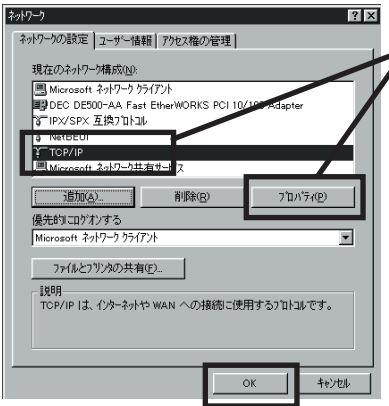


報知装置 I/F回路例 3

4．VN-C3 の IP アドレス設定

4－1　設定作業パソコンの IP アドレス変更

［**スタート**］ボタンから［**設定**］－［**コントロールパネル**］－［**ネットワーク**］の順で操作してネットワークの設定パネルを表示します。

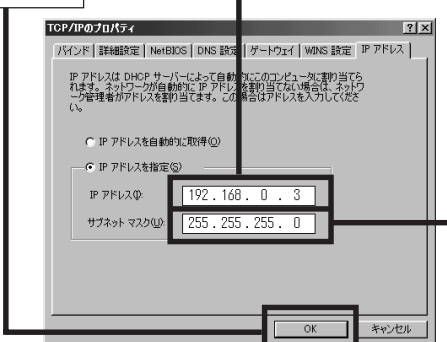


① TCP/IP の項目を選択してプロパティをクリックします。

②変更する前に必ず、元の IP アドレスのメモをとってください。
メモをとった後、
192．168．0．3
に変更します。

サブネットマスクは設定作業に適切な値としてください。不明な場合はネットワークの管理者に確認してください。

③［**OK**］をクリックした後、パソコンを再起動してください。

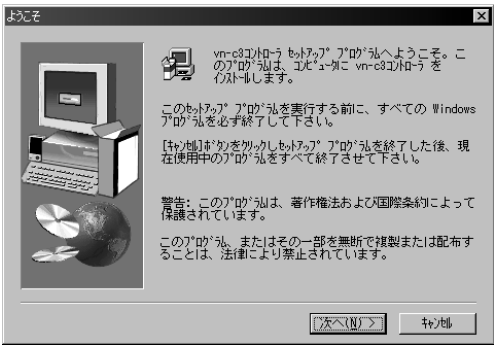


4－2　ソフトウェアのインストール

VN-C3 コントローラ CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

セットアッププログラムは CD-ROM 中の ¥Victor フォルダ内にあります。

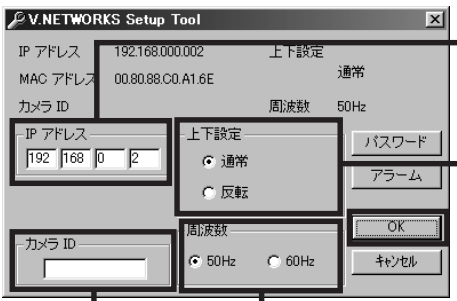
¥Victor¥Setup.exe を実行して指示にしたがってソフトウェアのセットアップを行います。



4－3　VN-C3 の IP アドレス設定

V,NETWORKS セットアップツールは CD-ROM 中の ¥Victor ¥setup フォルダにあります。
¥Victor¥setup¥vsetup.exe を実行してください。(CD-ROM から直接起動)

設定作業を行う VN-C3 の IP アドレスを入力します。
工場出荷時の IP アドレスは
192. 168. 0. 2 です。



ネットワークの管理者に割り当てあるいは承認を得た IP アドレスへ変更します。
(図は 192.168.0.2 の場合の入力例。)

設置状況により通常設置（VN-C3 のレンズ部が本体の下になる向きに取付）または反転位置（VN-C3 のレンズ部が本体の上になる向きに取付）を指定します。

蛍光灯下でのチラツキを軽減する為の設定です。
設置地域の電源周波数に応じて 50Hz または 60Hz を指定します。

カメラ ID は VN-C3 本体に設定される「識別コード」に相当するものです。英数のみ入力可能です。
ユーザには直接的には関与しません。
通常　CAM00001、CAM00002　…　のように追番号で設定しておきます。

※パスワードボタンをクリックした場合の説明は次のページを、アラーム設定ボタンをクリックした場合は 22 ページをご覧ください。

4－4　パスワード設定

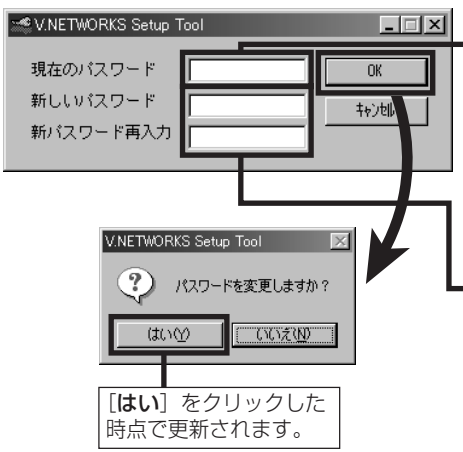
パスワード保護機能

VN-C3 には接続されるパソコン（ユーザ）を規制するためにパスワードによるアクセス保護機能があります。
その為のパスワード設定・解除が V.NETWORKS セットアップツールにより行えます。

注意

パスワード設定は現在のパスワードが一致しない限り解除・変更できませんので絶対にパスワードを忘れないようにしてください。

V.NETWORKS セットアップツールのパスワードボタンをクリックすると次の画面が表示されます。パスワードは半角英数字８文字以内（半角カタカナは不可）で入力してください。

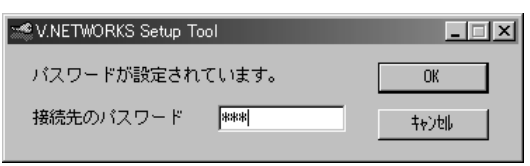


現在のパスワードを入力します。
新規でパスワード保護を設定する場合は何も入力しないようにします。
入力した文字は‘＊’で表示されます。

パスワード保護を設定する場合およびパスワードを変更する場合に上下同じものを入力します。
パスワード保護解除の場合は何も入力しないようにします。
入力した文字は‘＊’で表示されます。

［**はい**］をクリックした時点で更新されます。

パスワード保護が設定されている VN-C3 に対しては次のパスワード要求画面がでます。パスワードが一致しないと VN-C3 のセットアップを行うことはできません。

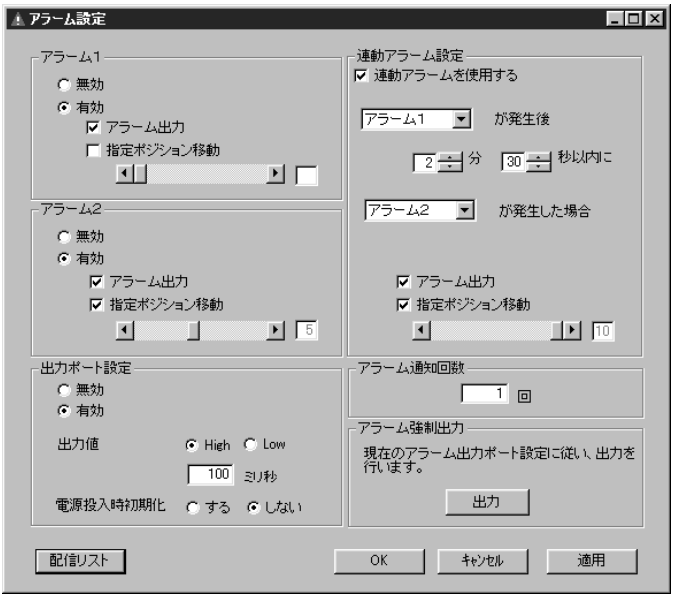


4－5　アラーム設定

アラーム配信機能

VN-C3 にはアラーム端子からの入力があった場合、ネットワーク経由でその情報をクライアント（VN-C3 コントローラ）に送信する機能があります。その為の設定を V.NETWORKS セットアップツールにより行えます。

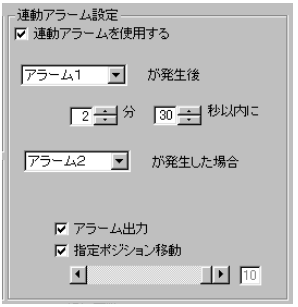
V.NETWORKS セットアップツールの［**アラーム**］ボタンをクリックすると次の画面が表示されます。



注意

接続先のカメラが VN-C1、VN-C2 の場合、アラーム設定は行えませんので、この画面は現れません。

［**アラーム 1**］、［**アラーム 2**］設定では、アラーム入力端子に入力される信号を無効にするか、有効にするかについて選択します。また有効の際、アラーム出力を行うか、またカメラを指定ポジション*に移動させるかどうかをチェックボックスとスクロールバーを操作することで設定します。
*指定ポジション移動については、
44 ページの「ポジションメモリの設定」をご覧ください。



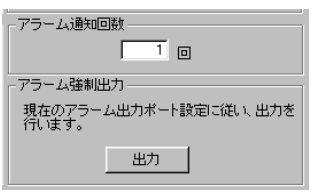
［**連動アラーム設定**］ではアラーム 1、またはアラーム 2 を受けた後に、設定した時間以内に他方のアラームを受けたとき、これを連動アラームとみなす設定を行います。
［**連動アラームを使用する**］にチェックをつけ、アラームの発生順序、その時間間隔を指定します。
連動アラームが発生した場合、アラーム出力、指定ポジション移動をチェックボックスとスクロールバーを操作することで行えます。

注意

連動アラームを設定した場合、後発のアラーム動作は行われません。
例）アラーム 1 →アラーム 2 の順で連動アラームが発生した場合は
アラーム 1 の動作→連動アラームの動作となり、アラーム 2 自体の動作は実行されません。

［出力ポート設定］では以下の設定を行います。
［有効］［無効］…アラーム出力を行うか行わないかを設定します。
［出力値］…アラーム発生時に出力信号として、High 信号を出力するか、Low 信号を出力するかを設定します。
選択された信号を出力しつづける時間を下のテキストボックスに入力し設定します。
例）High100 ミリ秒の場合は、100 ミリ秒間 High を出力し、その後 Low の状態になります。
［電源投入時初期化］…電源投入時に VN-C3 のアラーム出力よりアラーム信号を 1 回出力するか、 しないかを設定します。

※［出力ポート設定］の各項目の値は、アラーム出力先の機器に合わせて設定してください。



［アラーム通知回数］ではアラーム入力があった場合、これをクライアント（VN-C3 コントローラ）に何回通知するかを設定します。（設定できる回数は 1 ～ 3 回です。）LAN 環境等によっては、アラーム通知に失敗することがあります。これを防ぐためにアラーム通知回数を 3 回まで設定することができます。ただし、複数回に設定してもクライアント（VN-C3 コントローラ）の動作は 1 回のみとなります。

［アラーム強制出力］では［出力］ボタンを押すことで、カメラのアラーム出力端子から現在のアラーム出力ポート設定に従った出力を行います。
出力ポートに接続された機器のチェック等に使用することができます。

［**配信リスト**］を押すと、VN-C3 のアラーム配信先に登録された、パソコンのリスト（IP アドレス、ポート番号）が表示されます。
このリストには以下の条件を満たすパソコンが表示されます。
・VN-C3 コントローラが起動しており、セットアップ対象となっている VN-C3 に接続している。
・［**設定**］－［**アラーム通知登録**］にチェックがついていること。

パソコンの IP アドレスを選択して［**削除**］を押すことでアラームを通知するパソコンの取り消しができます。

［**OK**］を押すことでアラーム配信先のパソコンの選択を終了し、アラーム設定画面に戻ります。

注意

削除を行うと、削除したクライアントではアラーム発生時の動作が行えなくなりますのでご注意ください。

注意

V.NETWORKS セットアップツールは 19 ページでのインストール作業（Setup.exe）を行ったパソコンに限り、動作します。Setup.exe を実行していないパソコンでは正しく動作しません。また、Setup.exe を行ったパソコンでは setup フォルダをハードディスク等へコピーしても動作させることができます。

V.NETWORKS セットアップツールはセットアップ作業時のみ必要なソフトウェアですので、フォルダコピーを行った場合は作業終了後特別に必要と思われるパソコンを除き、削除されるようお願いします。

2 台目以降を設定する場合は、パソコンを再起動させた後、2（13 ページ）に戻ってください。すべての VN-C3 の設定が終了したら次に進んでください。

4－6　作業パソコンの IP アドレス復元

4－1 と同様の手順で［**スタート**］ボタンから［**設定**］－［**コントロールパネル**］－［**ネットワーク**］の順で操作してネットワークの設定の TCP/IP プロパティをメモしておいた元の IP アドレスに修正・復元します。

修正後、メッセージに従いパソコンの再起動を行ってください。

5．設定 IP アドレスの有効化

VN-C3 の電源を一旦、切断してから再投入します。

（電源投入時に必ずパン・チルト機構のリセット動作を行いますので、このパン・チルト機構のリセット動作により正常に電源投入できたか確認できます。）

※セットアップツールにより変更した IP アドレスは、VN-C3 の電源を一旦切断した後に再投入した時点で有効となります。

（電源を切断するまでは変更前の IP アドレスで動作しています。）

検索機能

‘検索’ ボタンは、今ネットワークに接続されている V.NETWORKS の IP アドレスを知りたい時に使用します。

‘検索’ を押すと、［検索画面］のウィンドウが表示されます。［検索画面］ウィンドウで、‘検索開始’ を押すと、ネットワークに接続されている V.NETWORKS の IP アドレスの一覧が表示されます。タイムアウトは、検索にかける時間を設定します。0～30 秒まで設定できます。

■注意　パソコンとサブネットの異なる V.NETWORKS が LAN 上に接続されている場合、検索で見つかっても接続することはできません。

そのような時はパソコンを適切な IP アドレスに変更後、接続してください。

6．接続先の登録

VN-C3 コントローラ（VN-C3 接続ソフト: vn-c3.exe）を起動します。
メニューの［**ファイル**］ー［**新規作成**］を実行して、接続先を指定します。

接続先の VN-C3 の IP アドレス、設置名称を入力します。
（図は 192. 168. 0. 2 の場合の入力例です。）

ここで指定したフォルダの中に“VN-C3 名称”のフォルダが自動作成され、そのフォルダの中に、録画されたファイルが保存されます。
（録画については 51 ページを参照。）
［**接続と同時に**］では、VN-C3 に接続した時に、自動的に録画を開始するかどうかを指定します。

注意

［**ファイル**］－［**新規作成**］にて、［**新規作成**］ウィンドウを表示させたとき、

「実行時エラー“53”：
ファイルが見つかりません：RasCtrl.dll」

というエラーメッセージが出ることがあります。
この様な場合、お手数ですがご使用のパソコンに「ダイアルアップネットワーク」をインストールしてください。
また、そのインストール過程でモデム種別を尋ねられますがモデムが接続されていないときは「標準モデム」を選択し、インストールを行ってください。
（ダイアルアップネットワーク、及びモデムのインストール方法については Windows の取扱説明書を参照してください。）

6－1　LAN 接続の場合

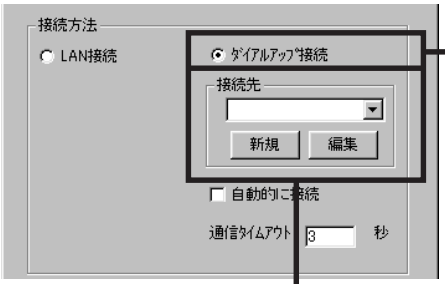
LAN を用いて VN-C3 に接続する場合、以下のように設定します。

LAN 接続の場合は［**LAN 接続**］をクリックし、チェックをつけます。

［**OK**］をクリックし、登録を終了します。

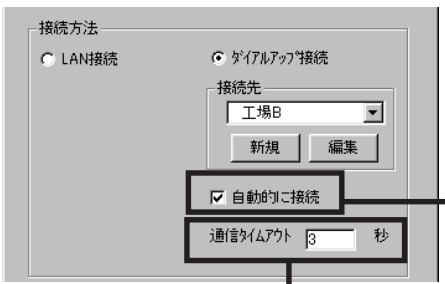
6－2　ダイアルアップ接続の場合

ダイアルアップ接続を行う場合、以下のように設定します。



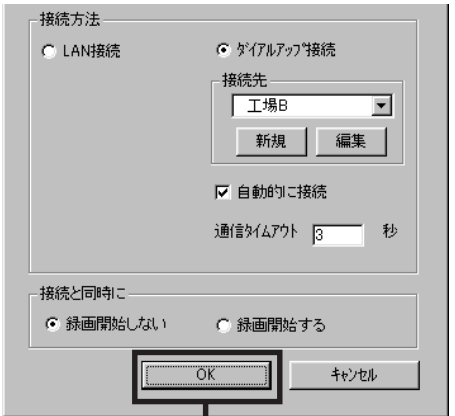
ダイアルアップ接続の場合は［**ダイアルアップ接続**］をクリックし、チェックをつけます。

接続先をプルダウンメニューより指定します。接続先を新規作成する場合は、［**新規**］をクリックします。
（新規ダイアルアップ接続先の登録は 30 ページより）



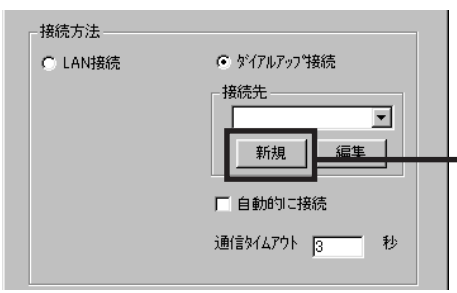
ダイアルアップ接続を自動で行う場合、［**自動的に接続**］をチェックします。

ダイアルアップ接続にて画像が正しく表示されない場合は通信タイムアウトを長めに設定してください。
（デフォルト値は 3 秒）



［**OK**］をクリックしてダイアルアップ接続の新規作成を終了します。

■ダイアルアップ接続先の登録（Windows98 の場合）



新しくダイアルアップ接続先の登録を行うにはまず、［**新規**］をクリックします。

注意

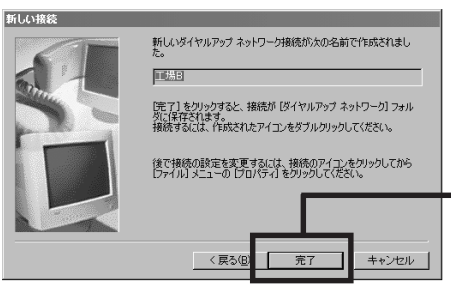
ここでは Windows98 上での代表的な手順を説明します。お使いのパソコンの状態によっては、モデムのインストールが開始されたり本手順と異なる場合がありますが、異常ではありません。
また、他の OS（Windows95,Me,NT,2000,XP）では、異なった画面が表示されますが、実際に表示される画面の指示に従ってください。

接続先名称を入力し、使用するモデムを指定します。

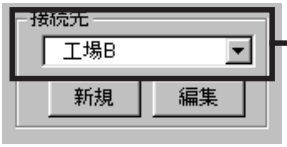
[**次へ**] をクリックします。

接続先の電話番号を入力し、プルダウンメニューより国番号を指定します。

[**次へ**] をクリックします。



[**完了**] をクリックし、ダイアルアップ接続先の登録を完了します。



接続先のプルダウンメニューから
新規登録した接続先を指定します。

［ダイアルアップ接続の編集（Windows98 の場合）］

接続先の各種変更を行う場合は
［**編集**］をクリックします。

各種設定を変更後、［**OK**］をクリック
することで編集を終了します。

・・・ アドバイス

作成した接続先設定を他のパソコンへコピーする方法

VN-C3接続先情報は接続ソフトウェアーのインストールされたフォルダ内に dat ファイル（拡張子 .dat）として作成されます。
datファイルをコピーすることによって容易に接続先設定を他のパソコンへコピーすることができます。

コントローラソフトの操作説明

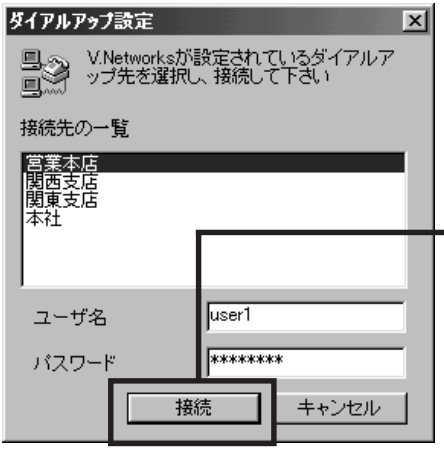
接続の開始および接続先変更

インストール手順は、19 ページの「ソフトウェアのインストール」をご覧ください。

VN-C3 コントローラ（VN-C3 接続ソフト：vn-c3.exe）を起動するとロゴの表示に続いて次の画面が表示されます。

プルダウンメニューより選択することで接続先に接続することができます。

ダイアルアップ接続で新規作成時、[**自動的に接続**] にチェックをしなかった場合、次の画面が表示されます。



接続先の確認、変更、およびユーザ名、パスワードの入力後、[**接続**] をクリックすることで接続することができます。

設定ファイルからの接続

vn-c3.exe と vnet ＊ .dat ファイルを関連付けることで、＊ .dat ファイルをダブルクリックするだけで、接続できるようになります。

準備

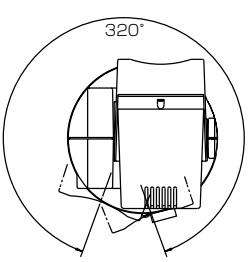
1．エクスプローラで、[**表示**] メニューの［**フォルダ オプション**］をクリックします。
2．［**ファイル タイプ**］タグの［**追加**］をクリックします。タイプの説明を［**タイプの説明**］ボックスに入力します。
（例：dat ファイル）
3．［**関連付けられた拡張子**］ボックスに“.dat”と入力します。［**新規**］をクリックし、［**アクション**］ボックスに“open”と入力します。
4．［**アクションを実行するアプリケーション**］ボックスに vn-c3.exe を指定します。
（例：C:¥Program Files¥V.NETWORKS¥vn-c3¥vn-c3.exe）

※注意
既に“dat”の拡張子がファイルタイプとして、他のアプリケーションが指定されている場合には、この機能はお使いになれません。

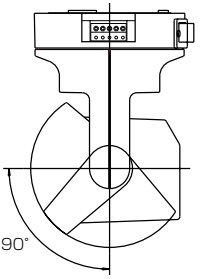
コントローラの説明 1

接続されると、VN-C3 の画面が表示されます。現在接続中の VN-C3 名称、パン・チルト動作の角度ステップ、パン・チルト位置が表示されます。

接続先 VN-C3、パン・チルト動作の角度ステップは、左右のボタン（◁ ▷）をクリックすることで変更できます。
パン・チルト位置は、 8 つのパンチルト操作ボタンにより変更します。
パン・チルト操作ボタンの 1 回あたりの動作角度は「角度ステップ」になります。ズームイン・ズームアウトボタンを押し続けると連動してズームイン・ズームアウトを、また 1 回クリックでは 1 ステップずつズームイン・ズームアウトを行います。



パン可動範囲



チルト可動範囲

便利な機能

動画ウィンドウをダブルクリックすると、クリックした位置が画面の中心となるようにパン・チルト動作を行います。

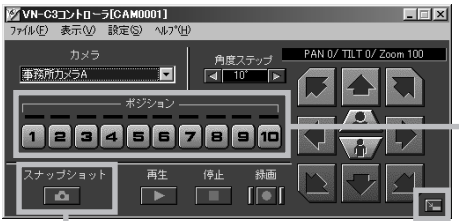
注意

パン・チルトリミット位置以上には移動しませんが異常ではありません。

注意

パン・チルト操作時、また動画ウインドウからパン・チルト動作を行う際、数秒間画像が止まることがありますが、位置ズレ補正を行っているためで、異常ではありません。

コントローラの説明 2

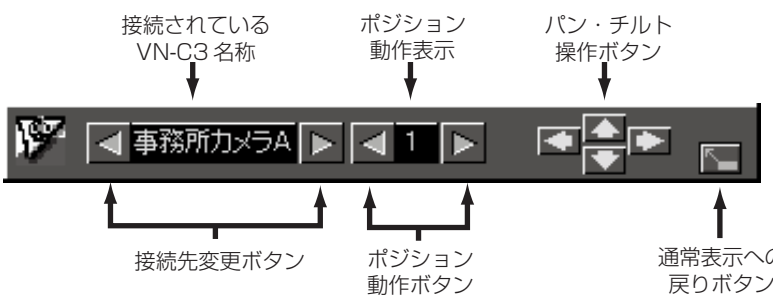


VN-C3 本体には撮影パン・チルト位置を記憶する10ヵ所のポジションメモリが用意されています。
このボタンをクリックすることにより接続されている VN-C3 の各ポジション位置へのパン・チルト動作をさせることができます。
ポジションメモリの内容を変更するには 44 ページの［ポジションメモリの設定］をご覧ください。

VN-C3 コントローラには、接続中の VN-C3 画像の 1 フレームを静止画として保存する機能があります。このボタンをクリックした時点で表示されている VN-C3 画像を保存できます。
詳しくは 56 ページの［静止画保存機能］をご覧ください。

VN-C3 コントローラ画面が大きくてデスクトップ上に配置しきれない場合は、ここをクリックして小さなコントローラとすることができます。
大⇔小相互に切り換えができます。

コントローラ（小）



注意

ポジションメモリ操作時、数秒間画像が止まることがありますが、位置ズレ補正を行っているためで、異常ではありません。

コントローラの説明 3

VN-C3 コントローラは、接続中の VN-C3 画像を任意の時間録画し、再生する機能があります。
詳細は 51 ページ「動画保存再生機能」をご覧ください。

角度ステップの表示の上でマウスをクリックすることで直接ステップ値を入力できます。
値を入力(変更)して「**Enter**」キーを押してください。

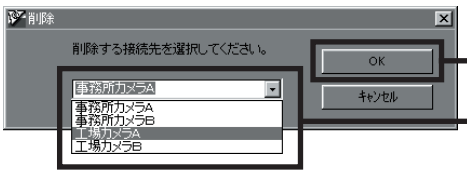
VN-C3 名称の上にマウスをもっていきしばらくそのままにしておくとバルーン表示でも VN-C3 名称が表示されます。VN-C3 名称の文字数が多い場合でもバルーン表示は全て表示されます。

接続先の新規作成

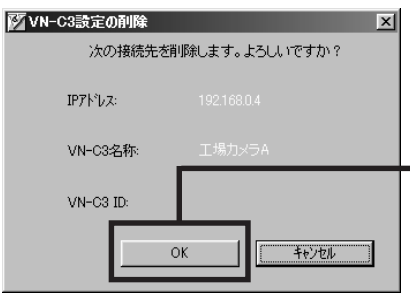
27 ページの「接続先の登録」をご覧ください。

接続先の削除

メニューの［**ファイル**］－［**削除**］を選択します。



接続先を選択して［**OK**］をクリックします。

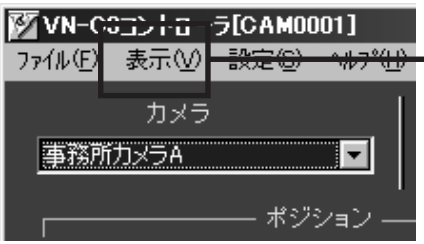


削除される内容を確認して、［**OK**］をクリックしてください。

注意

削除した接続先は復元できませんので、削除の際は十分に注意してください。

表示サイズ変更と上下反転

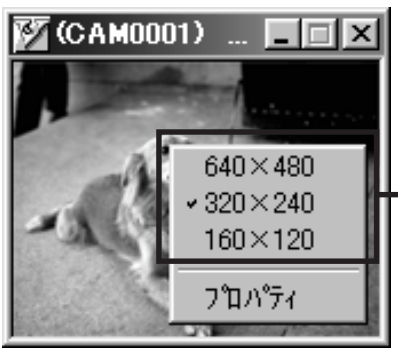


メニューの［**表示**］を選択します。

画像サイズを選択できます。
表示画像の上下を反転したい場合には切り換えができるようになっています。

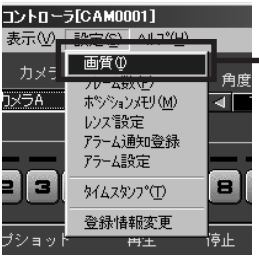
便利な機能

次の手順でも動画ウィンドウの大きさを変えることができます。



動画ウィンドウ上でマウスの右ボタンをクリックします。すると左の図のようなプルダウンメニューが表示されます。
［160 × 120］、［320 × 240］、［640 × 480］から画像サイズを指定してください。

画質の調整



メニューの［**設定**］－［**画質**］を選択します。

圧縮率は画質と反比例の関係にあります。
表示される画像の毎秒のフレーム数は圧縮率と比例します。

圧縮率	（1）	～	（7）
画　質	（高）	～	（低）
フレーム数	（少）	～	（多）

工場出荷値に設定します。
有効とするには［**デフォルト**］をクリックしてください。

設定変更を有効とするには［**OK**］をクリックしてください。

画質設定

画質を変更することによって画像イメージを調整することができます。

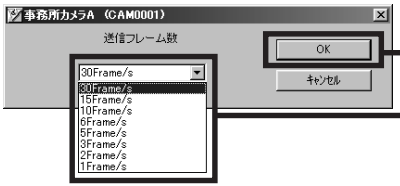
項　目	効　果
色の濃さ	色の濃さの調整です。 数字を大きくすると発色が強くなり、小さくすると弱くなります。
色のバランス	スライドバーを右に動かすと青が強調され、 左に動かすと赤が強調されます。
ブライトネス	明るさ調整です。 オート／マニュアルの選択ができます。
AGC	室内を選択すると暗い場所では自動に高感度で撮影します。 屋外を選択すると感度をおさえて撮影します。屋外やあまり暗くない室内を撮影するときに使用してください。 室内、屋外とも選択していない状態がオフの状態です。通常はオフで使用してください。

注意

本機はオートホワイトバランスで動作しています。被写体の大部分が赤い場合には青緑がかった色に、青い場合にはオレンジがかった色に、黄色い場合には青紫がかった色になることがあります。
このような場合は、色のバランスで色合いを調整してください。

フレームレートの設定

メニューの［**設定**］－［**フレーム数**］を選択します。



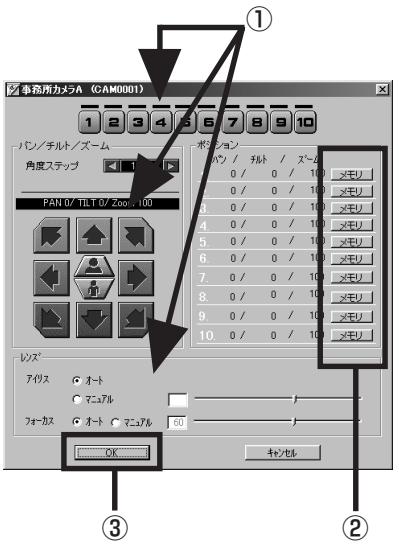
VN-C3 から送信される画像の毎秒の送信フレーム数の上限を設定します。

注意

実際に受信および表示される毎秒のフレーム数はパソコンの性能、画像圧縮およびLAN環境に左右されます。他のユーザの通信障害となる場合があるため、複数の処理でLANを共用している場合(特に普段ネットワークに比較的大きな負荷がかかっている環境の場合)は送信フレーム数を下げるようにしてください。

ポジションメモリの設定

メニューの［**設定**］ー［**ポジションメモリ**］を選択します。



ポジションメモリの変更手順

① ポジションメモリボタン、パン／チルト／ズームの設定、レンズ設定を用いて、ポジションメモリに記憶させたいの状態をセットします。

② ①でセットされた状態で記憶させたいポジションメモリ番号の［**メモリ**］ボタンを押すことで新しい 設定がポジションメモリに記憶されます。

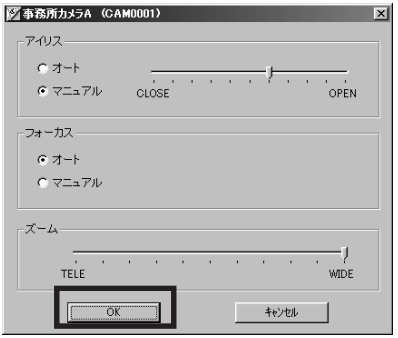
③［OK］を押すとポジションメモリの 設定ウィンドウを終了します。

注意

・接続先が VN-C2 の場合、使用できるポジションメモリは 1 から 6 までです。また、レンズの設定も行えません。
・接続先が VN-C1 の場合、ポジションメモリの使用、レンズの設定はともに行えません。
・ズームを TELE 端に設定すると、ポジション移動後画像に多少のズレが生じる場合があります。

レンズ設定

メニューの［**設定**］－［**レンズ設定**］を選択します。
※注意
接続先が VN-C3 でない場合、この機能は有効になりません。



現時点のレンズの状態がウィンドウに表示されます。
設定項目を操作するとレンズが動きますので、好みの状態になったら［**OK**］を押して、レンズ設定ウィンドウを閉じます。

アイリスおよびフォーカスでオートを選択するとスライドバーは操作不可となり、マニュアルにすると操作可能となります。

アドバイス

人通りが多い場所等で使用する場合や TELE 端で使用する場合、オートフォーカスが常時動作しますので、目的に合わせてマニュアルでのご使用をおすすめします。

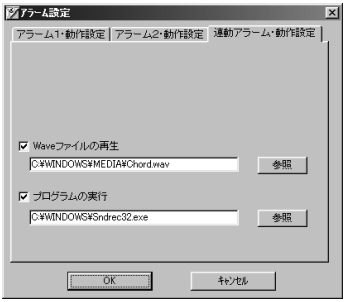
アラーム設定

アラーム設定では、2 つのアラーム信号を受けた時の VN-C3 の動作設定を行います。

メニューの［**設定**］ー［**アラーム設定**］を選択します。

［アラーム 1］、［アラーム 2］では VN-C3 からの 2 通りのアラーム信号を受けたとき、チェックボックスにチェックを入れることで以下の動作を設定することができます。

・メッセージ表示 ..... 入力したテキストボックスの内容を表示します。（表示できる文字数には制限があります。）
・録画開始 ..... 録画を開始します。
・Wave ファイルの再生 ... 予め指定しておいたWaveファイルをアラームを受けたと同時に再生します。［**参照**］ボタンから Wave ファイルを指定することができます。
・プログラムの実行 ..... 予め指定しておいたプログラムをアラームを受けたと同時に起動します。［**参照**］ボタンから実行ファイルを指定することができます。



連動アラーム設定

V.NETWORKS セットアップツールにおいて、連動アラームの設定を行った場合、このウィンドウが有効になります。
連動アラームが発生した場合、Wave ファイルの再生、プログラムの実行を予め設定しておくことができます。
（これらの項目に関しては前ページを参照してください。）

注意

・容量の大きい Wave ファイル（＊ .wav）を選択した場合、パソコンの性能によってアラーム動作が遅れる事がありますので、なるべく容量の小さい Wave ファイルを選択するようにしてください。
・ここで設定したアラーム設定を動作させるためには、［**設定**］メニューでアラーム通知登録にチェックが付いていること、また VN-C3 本体側の設定で各アラーム設定が有効になっていることが必要です。VN-C3 本体側の設定に関しては 22 ページの「アラーム設定」を参照してください。
・連動アラームを設定した場合、後発のアラーム動作は行われません。
例）アラーム 1 →アラーム 2 の順で連動アラームが発生した場合は
アラーム 1 の動作→連動アラームの動作となり、アラーム 2 自体の動作は実行されません。

アラーム設定を動作させるためには、［**設定**］メニューの［**アラーム通知登録**］にチェックが付いていることが必要です。

タイムスタンプ設定

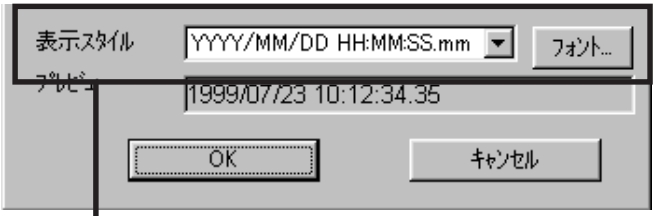
メニューの［**設定**］－［**タイムスタンプ**］を選択します。

タイムスタンプを表示するかしないかを設定します。

タイムスタンプの文字色と、背景色を設定します。
・透明…背景を透明にします。

プレビューではフォントの変更は表示されません。

※タイムスタンプの表示位置を変えたい時
動画ウィンドウもしくは再生ウィンドウ上で、「**Shift**」キーを押しながら左クリックすると、クリックした場所にタイムスタンプが表示されます。

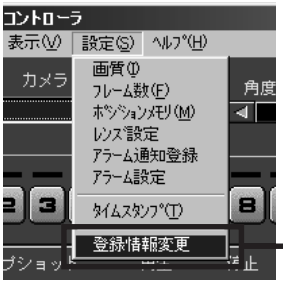


表示スタイルは以下の７種類のうちから選べます。

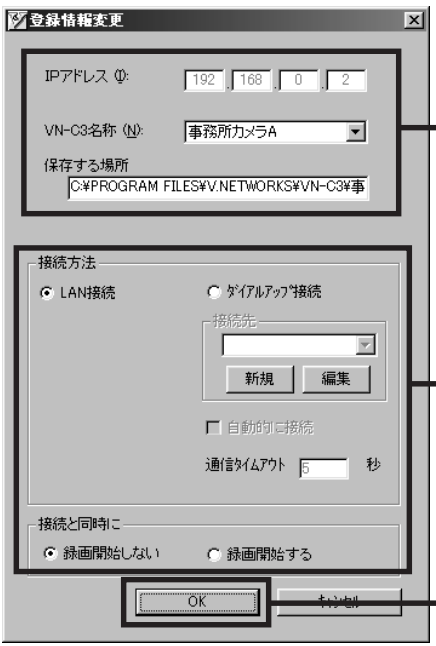
YYYY/MM/DD HH:MM:SS.mm
（年／月／日　時：分：秒．ミリ秒）
YYYY/MM/DD HH:MM:SS
（年／月／日　時：分：秒）
DD/MM/YYYY HH:MM:SS
（日／月／年　時：分：秒）
MM/DD/YYYY HH:MM:SS
（月／日／年　時：分：秒）
MM/DD HH:MM:SS
（月／日　時：分：秒）
HH:MM:SS
（時：分：秒）
HH:MM
（時：分）

登録情報の変更

新規作成時に設定した接続関連の情報を変更します。
（ただし変更可能なのはオフラインの VN-C3 の情報のみです。）



［**設定**］－［**登録情報変更**］を選択します。



［**VN-C3 名称**］のプルダウンメニューから情報変更する VN-C3 を選択します。
［**IP アドレス**］、［**保存する場所**］は変更できません。

［**接続方法**］、［**接続と同時に**］では新規作成時同様の設定が可能です。
これらの変更の後、［**OK**］をクリックすることで登録情報変更を終了します。

動画保存再生機能

VN-C3 コントローラでは表示中の任意の一定時間を動画像ファイルとして VN-C3 名称で自動作成されたファイルに保存し、再生することができます。

VN-C3 に接続中にコントローラの［**録画**］ボタンを押します。

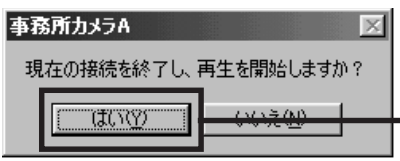
※録画されたファイルは、新規作成の時に指定したフォルダに保存されます。

動画ウィンドウの右上に“**REC**”の文字が表示され、録画が開始されます。

録画を停止するときは、コントローラの［**停止**］ボタンを押してください。（‘REC’ が消えます。）

※録画ファイルの保存先として指定したフォルダの中身は、絶対に変更しないでください。ファイル名を変えたりしますと、再生時に正常に再生されなくなる可能性があります。

コントローラの［**再生**］ボタンを押します。



VN-C3 の画像を閲覧中の場合は、［**はい (Y)**］を押して見ている画像を終了します。
画像を閲覧中でなければこのウィンドウは現れません。
※ VN-C3 からの画像を閲覧中は録画ファイルの再生はできません。

録画したファイルが保存されているフォルダを選択します。

指定したフォルダ内に録画開始時間から終了時間までをファイル名とした動画ファイルが表示されますので、そのなかから再生したい時間を選択してください。

数字は何枚目のファイルを表示しているかを表しています。
スライドバーはマウスでドラッグすることによって、ファイルを自由に再生することができます。

「**再生**」をクリックすると再生を開始します。
再生中は「**一時停止**」と表示され、再生中にもう一度クリックすると、一時停止します。（再度クリックすると再生を再開します。）

「**停止**」をクリックすると再生を中止し、始めの画像に戻ります。
ダブルクリックすると、再生時間の選択画面に戻ります。

注意

録画停止後すぐに再生ボタンをクリックすると、再生するファイルを選択するウィンドウ内に先ほど録画したファイルが表示されていないことがあります。このような場合は、もう一度再生するファイルを選択するウィンドウを開きなおすか、一旦別のフォルダに移動してから元のフォルダに戻す操作をしてください。

※録画ファイル形式について

VN-C3 コントローラ Version 2.0 より、録画ファイル形式が変更になりました。

Version 1.* ---------- 録画を開始すると、画像を 1 枚 1 枚 JPG ファイルとしてハードディスクに保存。

Version 2.* ---------- 録画を開始してから録画を停止するまでの画像を 1 つのファイルにまとめ、「“録画開始時刻”.mjp」というファイル名でハードディスクに保存。

VN-C3 コントローラ Version 1.*で録画されたファイルは、VN-C3 コントローラ Version 2.*では再生できません。

また、VN-C3 コントローラ Version 2.*で録画されたファイルは VN-C3 コントローラ Version 1.*では再生できません。

このように、録画ファイルの再生は Version 1.*と Version 2.*とでは互換性がありません。Version 1.*で録画したファイルは Version 1.*で、Version 2.*で録画したファイルは Version 2.*で再生してください。

※録画再生時間について

通常の Windows アプリケーションでは、ファイルが 2 GB を超えた部分へのランダムアクセスが行えません。
VN-C3 コントローラで、2 GB を超える録画及び録画ファイルの再生は行わないようご注意願います。
2 GB を超える長時間録画を行う際は、別売のマルチカメラブラウザ（VN-S100/S200）をご使用ください。
参考までに、容量 2 GB の場合の録画時間を概算で表示します。
・録画容量は主に画像サイズ設定に依存します。
160 × 120： 20 時間
320 × 240： 6 時間
640 × 480： 2 時間
（5 Frame/s で録画、画像 1 枚あたりそれぞれ約 5 kB/15 kB/50 kB と想定）

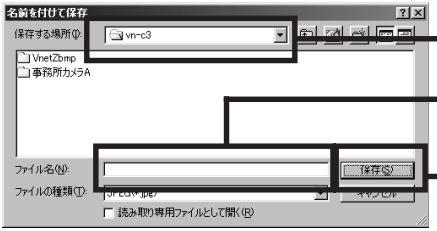
静止画保存機能

VN-C3 コントローラでは表示中の画像の任意の瞬間を JPEG 形式の画像ファイルとして保存することができます。

［**スナップショット**］ボタンをクリックします。

スナップ表示がでます。
スナップ表示は最大 16 画面まで表示できます。16 画面表示されているときはスナップショットボタンからカメラのマークが消えます。また、このときスナップショットボタンをクリックするとビープ音がなります。

各スナップ表示のメニューの［**保存**］ー［**保存**］を選択した場合、保存のダイアログが表示されます。



保存する場所を指定します。

ファイル名を入力します。

[**保存**] をクリックしてファイルに保存します。

注意

・保存した画像は一般のビューアーソフトで表示させることができます。ただし、上下反転表示をさせている画像は反転表示とはなりません。また、再現される色合いが VN-C3 コントローラ画面と異なる場合があります。

・Windows95 をご使用の場合、VN-C3 コントローラを起動中に、他の画像閲覧アプリケーションを起動させますと、スナップショット画像が保存できなくなる場合があります。
このような場合、録画機能での保存をおすすめします。

V.NETWORKS プロパティ

接続先の V.NETWORKS の詳細を表示させます。

動画ウィンドウ上でマウスの右ボタンをクリックします。すると左の図のようなプルダウンメニューが表示されますので、［**プロパティ**］を選択してください。

MAC アドレス
接続先の V.NETWORKS 固有の値です。
IP アドレス
接続先の V.NETWORKS の IP アドレスです。
機種名
接続先の機種名を表示します。（VN-C1, VN-C2, VN-C3…）
プログラムバージョン
V.NETWORKS 本体のプログラムのバージョンです。
保存先フォルダ
録画した画像が保存されるフォルダです。
（新規作成時に指定したパスが表示されます。フォルダ名が最後まで見えない時は、スクロールすれば見えるようになります。）

こんなときは

V.NETWORKS セットアップツールで変更したVN-C3 のIP アドレスが分からなくなった。	V.NETWORKS セットアップツールの検索ボタンよりネットワークに接続されたV.NETWORKS カメラのIP アドレスの一覧が取得できます。 それでも不明な場合は修理扱いとなります。お買い求めの販売店にご相談ください。
録画できない。	・保存先フォルダが削除されている可能性があります。保存先を確認して、フォルダが存在する事を確認してください。 ・ディスクがいっぱいになっている可能性があります。ディスクの空き容量を確認してください。
パスワード保護機能を設定したがパスワードを忘れてしまった。	パスワード保護機能の解除作業は修理扱いとなりますので、お買い求めの販売店にご相談ください。 なお、安全のため身分証明書のご提示をお願いすることがあります。
接続時に「接続されたVN-C3 は、パン・チルト機能の制御が正しく行えません。」のメッセージがでる。	一度、VN-C3 の電源を切って再投入します。再投入後も改善しない場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。
「接続中…」の表示中のキャンセルに時間がかかる場合がある。	一旦、接続動作に入ると数秒間はキャンセルできないようになっています。

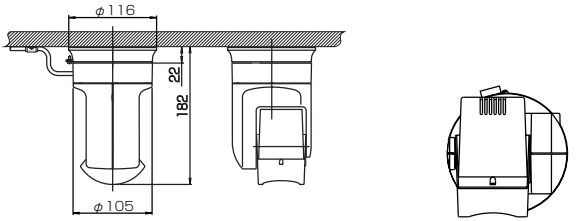
色合いが気になるとき。	・ディスプレイやビデオカードのカラー調整を確認する。 パソコンのビデオカードやディスプレイによって多少表示される色合いが異なる場合があります。ディスプレイのカラー設定を調節することにより改善できる場合があります。 また、ビデオカードによっては［画面のプロパティ］（デスクトップでマウスを右クリック）でカラー調整できる場合があります。 ・True Color（24 ビット）表示に切り換える。 High Color（16 ビット）以下の設定では自然な色合いが再現しにくくなります。 True Color でのご使用をお勧めします。 ・「色のバランス」を調整する。 画質設定画面の「色のバランス」で色合いを変えることもできます。 ・照明光源の異なる情景を撮影した場合（例えば、太陽光下の屋外と蛍光灯下の屋内とを交互に撮影する場合）、オートホワイトバランスが働くまで時間がかかるときがあります。 被写体によっては、色相が少し変化しながら見えることがありますが、これは故障ではありません。
マウスのクリックが効きにくい。	パソコンの機種によっては、VN-C3 コントローラ上で表示される保存や参照などのダイアログ上でマウスのクリックが効きにくくなることがあります。 このような場合、マウスの右クリックをしてみるか、再度ダイアログを開き直すかすると復帰します。

画像サイズやポジションがひとりでに動いた。	同じ VN-C3 を複数台のパソコンで接続している場合、最後に VN-C3 の操作・設定をしたパソコンが優先されます。
フォーカスが合わない。	・暗い場所や何も無い場所（壁等）を撮影した場合、オートフォーカスが合わない場合があります。マニュアルで合わせてください。 ・横縞模様の被写体には原理上、オートフォーカスが合いづらいときがあります。 ・TELE 端などでマニュアルで合わせたときに、多少フォーカスがずれるときがありますが、これは故障ではありません。
VN-C3 に接続できない、または、接続が切断される。	ブロードキャストやコリジョンが多発しているときなど、ネットワーク状態が異常のとき、VN-C3 に正しく接続できなかったり、接続が切断される場合があります。ネットワーク状態をご確認ください。

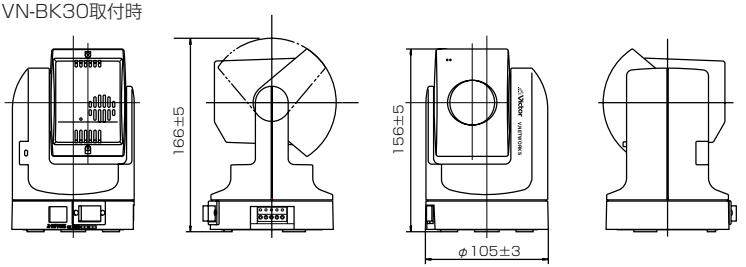
仕様

LAN 規格	IEEE802.3 準拠
通信プロトコル	UDP/IP
撮像素子	1/3 型　有効 30 万画素 CMOS
レンズ	10 倍、f=5.8 mm ～ 58 mm、F1.8 ～ F2.7
至近距離	1.0 m
パン・チルト動作角度	パン　320 °　チルト　90 °
画像圧縮	JPEG
画像サイズ	640 × 480、320 × 240、160 × 120
アラーム入力	無電圧 a 接点入力、NPN オープンコレクタ入力 ローレベル、ラッチ／モーメンタリ（500 ms）以上 （ローレベル時回路電流 1 m A、ハイレベル時印加電圧 5 V）
アラーム出力	NPN オープンコレクタ出力 （許容印加電圧 12 V、許容流入電流 300 mA）
電源電圧	DC 12 V
消費電流	2.0 A（最大）
動作温度	0 ℃～ 40 ℃
質量	約 730 g

外形寸法（単位：mm）



※VN-BK30取付時



保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

■保証期間について

保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補修はいたしかねます。故障その他により営業上の機会損失は補償いたしません。その他、詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

■アフターサービスについてのお問い合わせ先

贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ販売店または別紙ビクターサービス窓口案内をご覧のうえ、最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。

ご連絡していただきたい内容

品名	V.NETWORKS
型名	VN-C3
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	

愛情点検

●長年ご使用の機器の点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●電源プラグ、コードが異常に熱い ●その他の異常な故障がある。	→ ご使用を中止	故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご相談ください。

・この商品を廃棄する場合、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

修理についてのご相談は

「お買い上げ販売店」へご相談ください。
ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、63ページの「保証とアフターサービス」をお読みの上、別紙の「ビクターサービス窓口」にご相談ください。

お買い物相談

お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は「お客様ご相談センター」にご相談ください。

お客様ご相談センター

東　京

電話 (03)5684-9311(代)
FAX (03)5684-9317

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7
ビクター本郷ビル

大　阪

電話 (06)6765-4161(代)
FAX (06)6765-4891

〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16
大阪ビクタービル

日本ビクター株式会社

システムネットワーク事業本部

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話（0426）60-7765
〒103-0007　東京都中央区日本橋浜町2-1-1（田辺ビル）　電話（03）3663-9054

© 2002 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

SS961509-003